

## 平成26年度 第2回 倫理審査委員会 会議の記録の概要

開催日時：

平成26年 6月24日（火） 16：45～17：00

開催場所：

独立行政法人国立病院機構菊池病院 会議室

出席委員名：

木村武実、末松直幸、野口利幸、内村美子、益田博文、蛭原賢司、和田冬彦

審議事項：

申請番号 2516

【課題名】 認知症入院患者の排便状況と下痢による有害事象について

【申請者】 久保 美紀子（菊池病院 治験主任）

【研究の概要】 認知症治療等で用いられる向精神薬により便秘を併発した症例では、長期的に下痢が多用されている。そのため、継続的な下痢や電解質異常が認められる場合がある。下剤投与による下痢により腸内細菌叢のアンバランス（下部消化管における嫌気性菌の低下）が誘発され、外来性病原菌の着床を助長し腸炎及び下痢を悪化させるといった悪循環を形成するとされる。また、栄養吸収率も少なからず影響している可能性もある。

今回、入院患者における排便状況及び下痢の使用状況、有害事象を調査し、使用実態の把握並びに処方介入のあり方について調査を行いたい。

【判定】 承認